



第6学年部会



部報 NO.3

本時「札幌オリンピックの意義」に迫る！

【問いを生む場】

- ・聖火リレーについて
- ・最終聖火ランナーについて
- ・札幌は16歳というオリンピック史上最年少の高校生を採用
→なぜ？

【多様な考えをつなぐ場】

- ・市民がつくる大会
 - ・東京とはちがう
 - ・多くのボランティア
- 核になる言葉は？**
- ・これからを担う
 - ・市民の誇り
 - ・希望をもって

【学びを生かし思考を広げる場】

- ・国交が無い参加国の国旗も全て掲揚した
↓
 - ・「戦争をしない平和」から「〇〇な平和」へ
※札幌オリンピックの意義の捉えを広げていく
- 国際協調
と言えるか**

【東京五輪と札幌五輪の比較】

- ・東京オリンピックは国家事業
- ・世界に戦後復興を示す
- ・札幌オリンピックは市民の手で
- ・小、中学生、高校生が開会式に

【札幌⇌未来志向のオリンピック】

- ・「ヤングオリンピック」
- ・大切な開会式の聖火リレー
- ・最終走者は高校生に
⇒未来を担う若者が主役

【新しい日本、平和な日本】

- ・「戦争をしない」平和を示した東京オリンピック
- ・札幌オリンピックは「国際協調」を示した？

☆話し合いの中で

○「国際化」がキーワード？

前々回の部会では「札幌オリンピックが日本の国際化を進めたのでは？」という仮説が立てられました。(渡辺先生の資料から)「国際的なイベントの増加」「姉妹都市提携数の増加」という2つの観点で検証してみましたが、どちらも仮説を裏付けるような有力な事実ではありませんでした。

○そして、小単元のタイトルへ

札幌オリンピックでは、国交の無い国の国旗も全て掲揚したという事実があります。「新しい日本、平和な日本へ」という小単元のタイトル通り、国際協調という観点が見えてきました。

次回に向けて

- ・札幌オリンピックのねらい～JOCはこのオリンピックをどう考えていたのか
- ・未来から平和へという「思考の広がり」の吟味
- ・それらを裏付けられる事実 などです。

次回は 6月29日(水)

会場未定 18時30分～

時間、車、服装、マナーなどにご配慮ください。欠席、遅参の場合は連絡をください。

文責：渡邊（澄川小）